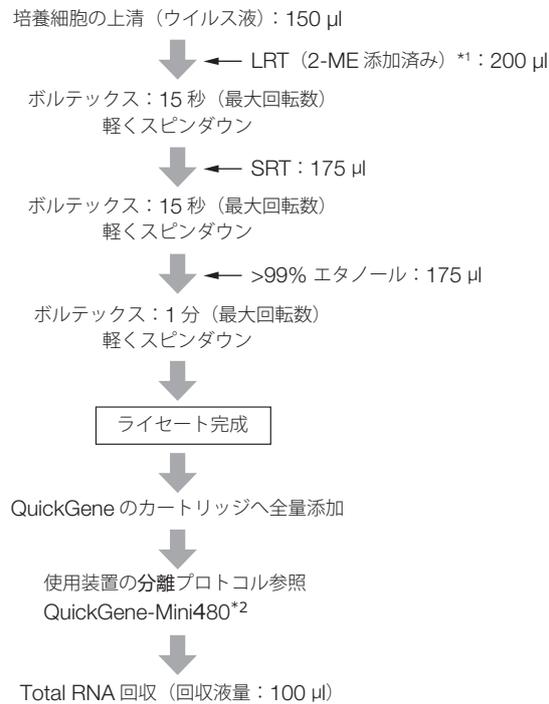


インフルエンザウイルス液からの total RNA分離

プロトコル



*1 1ml の LRT 当たり 10 μ l の 2-ME を加える。

*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

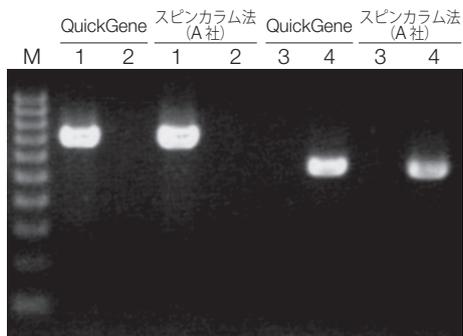
- 電気泳動図
データなし
- Total RNA の収量
データなし
- タンパク質の混入：A260/280
データなし
- カオトロピック塩の混入：A260/230
データなし

■ その他

● RT-PCR

QuickGene システムおよびスピнкаラム法 (A 社) を用いてインフルエンザウイルス液から分離した total RNA で AH3 型インフルエンザ特異的プライマーと B 型インフルエンザ特異的プライマーを使用した RT-PCR を行った。

ウイルス型選択性の確認



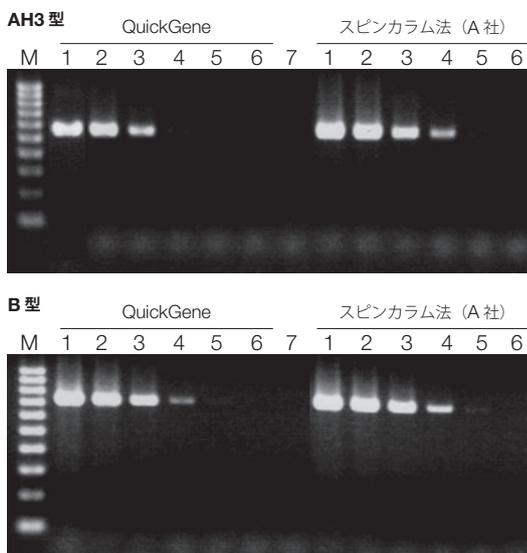
電気泳動条件：2.0% アガロース /1 × TAE

M：100 bp DNA Ladder
 1：AH3 型インフルエンザウイルス RNA
 2：B 型インフルエンザウイルス RNA
 3：AH3 型インフルエンザウイルス RNA
 4：B 型インフルエンザウイルス RNA

プライマー：1,2 AH3 型インフルエンザ特異的プライマー
 3,4 B 型インフルエンザ特異的プライマー

各 total RNA は特異的プライマーでのみ RT-PCR 産物が検出された。

ウイルス RT-PCR の確認



電気泳動条件：2.0% アガロース /1 × TAE

M：100 bp DNA Ladder
 1：インフルエンザウイルス、 10^6 pfu/ml
 2：インフルエンザウイルス、 10^5 pfu/ml
 3：インフルエンザウイルス、 10^4 pfu/ml
 4：インフルエンザウイルス、 10^3 pfu/ml
 5：インフルエンザウイルス、 10^2 pfu/ml
 6：インフルエンザウイルス、10 pfu/ml
 7：ネガティブコントロール

各 total RNA から AH3 型インフルエンザと B 型インフルエンザの RT-PCR 産物が検出された。

■ 共通プロトコルサンプル

麻疹ウイルス、RS ウイルス